

弥富市事務事業評価シート 平成29年度実施事業対象

No.	50	—	2	事務事業名	民間木造住宅耐震改修費補助事業	細事務事業名	民間木造住宅耐震改修費補助事業	公的関与	6	シート作成日	平成30年6月22日						
課名	都市計画課			グループ	建築			担当課長名	大野勝貴		シート作成者名	土方康寛					
事業区分	○ 1 ソフト事業		○ 3 整備事業		○ 5 施設の管理運営			事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
	○ 2 施設の建設		● 4 経常的事務事業						<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等						
総合計画	政策目標	1 定住と交流、活力を生むやとみ				実施計画		事業の開始・終了									
	施策項目	住宅施策の推進				● 1 該当		年度 ~ 平成		年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし							
	主要施策	建築物の耐震診断及び改修の支援				○ 2 非該当		根拠法令等		建築物の耐震改修の促進に関する法律							
個別計画																	
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)												
	市が実施する民間木造耐震診断の結果、総合評価が1.0未満のもの。				市が実施する民間木造耐震診断の結果、総合評価を1.0以上にします。												
事業の内容	地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止するため、旧基準木造住宅耐震改修工事を実施する者に対し、1件最大100万円を限度とした補助金を交付します。(平成28・29年度は90万円を限度)																
成果指標	①	指標名	民間木造住宅耐震改修費補助事業						②	指標名							
		指標設定の考え方	地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止する。				単位	戸		指標設定の考え方							
		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度		目標平成 30 年度							
		実績	0	実績	0	目標	※	目標		5	実績		実績		目標	※	目標
		目標	5	目標	5	目標	※	目標		5	目標		目標		目標	※	目標
予算費目	会 計	一般会計				款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費			
直接事業費			平成 28 年度決算額				平成 29 年度決算額				平成 30 年度予算額						
	国・県支出金			千円				千円		3,750		千円					
	地方債			千円				千円				千円					
	その他特定財源			千円				千円				千円					
	一般財源			千円				千円				1,250 千円					
計(A)			0 千円				0 千円				5,000 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費		0.061 人				0.100 人				0.154 人						
			421 千円				690 千円				1,063 千円						
	臨時職員工数・経費		人		0 千円		0.009 人		14 千円		0.009 人		14 千円				
全体事業費(A+B)				421 千円				704 千円				6,077 千円					

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価					
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	旧基準で建築された住宅の耐震改修を促進するために必要です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	耐震性が確保され、一応倒壊しない建物となります。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input checked="" type="radio"/>	目標に比べて劣っている		耐震診断は実施されても、耐震改修まで実施されるのが少ないのが現状で、平成28年度末で24件の実績となっています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない						
3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している						
4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	耐震改修後は、耐震性が確保された建築物となり、倒壊の危険がなくなります。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 1	効率性 4	総合評価 B	必要性 3	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A				
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等						
	当面の課題	耐震診断実施者の耐震改修工事実施への移行率が低いこと、住民ニーズのバランスをとりながら効果を上げることが必要です。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)								
	課題解決のための改善計画	耐震改修工事により建築物の倒壊を防止し、生命の安全確保ができることについて耐震診断実施者に理解してもらい、耐震改修補助事業の利用を促します。また、耐震診断実施者の反応を見ながら、30年度から補助額上限が100万円となった耐震改修費補助金と耐震シェルター整備費補助金の予算バランスを検討します。					木造住宅耐震診断、耐震改修工事の必要性、重要性について、理解を得るために住民に対し更に説明をし、事業の実施を進める必要があります。								
備考															